

第 44 回東北建築賞(業績賞)選考報告

選考委員長 飛ヶ谷 潤一郎

「古建築を対象にした放射性炭素年代調査法の開発と応用」

受賞者 中尾七重（山形大学理学部研究員）

欧米開発の放射性炭素（14C）年代測定法を、日本の古建築年代調査に適用し、これまで数多くの歴史的建造物の建築年代判定に貢献したことは高く評価される。

従来、この方法は木材最外年輪の形成年代を確率で示すのみにとどまるが、中尾氏は、建築年代を判定するために、自然科学的手法と建築史学的方法を組み合わせ、古建築に適した 14C 年代調査の手法を開発した。具体的には、調査試料の採取は、見え隠れや割れ傷み・風蝕を利用し、材の損傷を最小にする試料採取方法を考案した。こうして得られた部材年代と、建築史学の痕跡復原調査法による建物の変遷を照合し、建築年代を決定した。さらに他の調査法のデータや既往研究と比較照合し、建築年代の検証を行なった。

このように、「ただ測る」のではなく、最終的に建築年代にたどり着くための部材選択と、「測定結果」に基づく「部材年代」判定と、他の方法のデータや古記録との照合から、真の「建築年代」を得る一連の手法を用いて、今日までに東北地方を中心に、古民家 62 件、町家 16 件、社寺等 29 件の年代調査を実施した。その結果、東北の民家の価値を高め、文化財活用や文化財指定・保存修理に寄与した。

以上のように建築史学における 14C 調査研究手法を開発し、質の高い古建築 14C 年代調査を行い、古建築の調査保存活用に多大な貢献をしたことから、東北建築賞（業績賞）にふさわしいと判断した。